

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

(中間評価)

大阪市立長吉第二幼稚園

令和 7 年 1 1 月

## 大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

### 1 学校運営の中期目標

#### 現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との関わりのもちにくさが課題である。地域の方との関わりでは、関わり方を状況に合わせて変えながら、心の交流が図れるように工夫し、直接的な交流が再開できたときにつなげていけるようにする。また、園内での異年齢交流を通し、人と関わる楽しさを味わえるようにしていく。
- 外出できる機会が減っている現状からも、子どもたちの体力向上に努めていく必要性を感じている。日々の園内での遊びに加え、地域の公園や園外保育なども活用しながら、存分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。
- 実態に応じ、必要な基本的な生活習慣が身につくよう、指導内容を工夫し、家庭と連携しながら、継続的に取り組んでいく。
- 教育環境の充実を目指し、教員研修を行い、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、資質向上に努める。また、教員間で幼児の実態把握や教材研究を行ったりしながら、子ども達が様々な活動に主体的に取り組むことができるよう、環境構成を行う。

#### 中期目標

##### 【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

##### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

### 【安心・安全な教育の推進】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標通りに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【安心・安全な教育の推進】</b> ○ 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。 ○ 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> ○ いろいろな人とのふれあいや交流を楽しみ、経験したことを活かしたり広げたりし、人との繋がりを大切に思う幼児を育てる。	A
<b>指標</b> ① 異年齢で関わる活動や遊びを職員間で話し合い、関わりが広がるような活動を月2回以上行う。 ② 近隣の小学校といろいろな活動を通して年3回以上交流する。 ③ 幼児の実態に合わせ、地域の方との交流の仕方を工夫する。	
<b>取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】</b> ○ 年間計画に基づき、避難訓練や安全指導を行う。	A
<b>指標</b> ① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」に基づいた年間計画を作成し、避難訓練を年8回実施する。 ② 安全指導（降園指導、生活・交通・災害安全指導など）を年6回以上実施し、子どもや保護者に向けた安全指導を発達段階や実態に応じて行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」が96%「やや思う」が4%であった。

- ① 年度当初に、各クラスの子どもの実態を把握し、職員間で共通理解した。今年度は3歳児の入園に加え、4歳児にも新入園児が入園した。新しい友達のことを知ることができるようにクラス間を行き来して遊ぶことができるようにしたことや、担任間で毎週、保育の打ち合わせを行い、子どもの実態や遊びの流れから各クラス段ボールを使った遊びを楽しんだ。遊びが広がっていくように各保育室だけでなく、廊下や遊戯室などでも遊べるように場の環境の工夫を行ったことで、異年齢で一緒に遊ぶ時間が自然と生まれ、優しく接したり遊びを教え合ったりする姿が見られた。昨年度からの異年齢での関わりが土台となって年度当初から異年齢での自然な関わりが多くあった。また、園外保育では、異年齢で手をつないで電車に乗ることから、事前に一緒に安全指導やふれあい遊びをして、いろいろな友達と親しみがもてるように配慮した。園外保育後も、互いに誘い合って一緒に遊んだり弁当を食べたりする姿が見られた。
- ② 5歳児が長原小学校の5年生とプール交流を行った。継続して交流を行っていることで、担任間での打ち合わせがスムーズに進んだ。5年生の優しさや温かさを感じながら安心して小学校の大きなプール遊びが経験でき、2学期以降の行事での交流にも期待をもてた。平野支援学校の小学生とは、互いに興味のあるパラバルーンでの遊びを取り入れ、一緒に遊ぶことを楽しんだり、ふれあい遊びを教えてもらったりして少しずつ親しみをもっていった。次回、文化祭練習を見せてもらうことにも期待をもっている。
- ③ 保育所や幼稚園、老人ホームとの交流を行った。保育所との交流では園庭で好きな遊びで遊んだあと、一緒に体操やふれあい遊びをして親しみを深めることができた。4、5歳児は高齢者の方々と交流し、歌を聴いてもらったり手遊びを一緒にしたりしていく中で、自分たちに温かく関わってくださる姿に心がほぐれていった。七夕に向けて、お供え物の野菜を地域の八百屋さんへ買い物に出かけた。その時に持参した笹飾りの短冊に「野菜がたくさん売れますように」など、子どもたちなりの思いを書いているのを見て、喜んでくださった。やりとりをしながら買い物をする経験ができ、いろいろな人と関わる喜びを感じることができた。

## 取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で、「そう思う」が100%であった。

- ① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」をもとに、年間計画を見直し今年度の計画を作成した。避難訓練は、保護者引き取り訓練を含め計6回実施した。

3歳児は、初めての避難訓練では4、5歳児の避難する様子を見学する形で無理なく参加したことで、2度目からの避難訓練では落ち着いて避難することができた。地震時の避難訓練や保護者の引き取り訓練など様々な訓練を経験として積み重ねながら安全への意識を育てていきたい。4、5歳児は、昨年度からの積み重ねがあり、避難時の約束を再確認することを通

して安全な避難の仕方が身についてきている。5歳児は、自由な場での訓練時、担任ではない近くにいる教師の所に集まることもできるようになってきている。今後事前予告なしの訓練でも生かしていきたい。

消防車が1学期に2回来園し、消防士との触れ合いを通して子どもの防災意識が向上した。

② 各クラスや園全体で、その時期に必要な安全指導を月1回以上行うことができた。

4月 園庭の遊具の安全な使い方 横断歩道や信号について 降園指導

5月 段ボールカッターやハサミの安全な使い方、交通安全（ペープサート使用）、親子遠足の事前指導（オリエンテーリングの遊び）

6月 傘の安全な使い方

7、8月 交通安全についての紙芝居や警察による交通安全指導 降園指導

9月 木工遊びでの釘や金づちの安全な扱い方（5歳児）交通安全の絵本読み聞かせなど視覚物や実物のものを使いタイミングよく話したことで、イメージしながらしっかりと聞くことができ、守ろうとする意欲がみられた。

#### 後期への改善点

取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】

- ・園内外での交流の在り方を検討し、事前事後の保育の展開を工夫する。

取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

- ・降園指導後の保護者への啓発方法を工夫する。
- ・園庭開放時の安全面について保護者の意識が高まるように啓発する。

### 大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標通りに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○ 令和7年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。 ○ 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
------------------------------	------

<b>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> ○ 遊びを通して進んで体を動かす楽しさを味わえるような活動を工夫する。	
<b>指標</b> ① 子どもの実態に応じて体を動かして遊びたいようになるように遊具を精選し、環境や活動を工夫する。 ② 季節に応じた体操や遊びの年間計画を作成し、学期ごとに見直しを行う。 ③ 地域の公園や近隣校を活用し、広い場所で体を動かして遊ぶ機会を年5回もつ。	A
<b>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> ○ 季節に合わせた保健指導を子どもの実態に応じて実施するとともに、保護者への啓発を行う。	
<b>指標</b> ① 季節や子どもの実態・発達段階に合った保健指導を月1回行う。 ② 保護者が子どもと一緒に健康的な生活習慣に関心をもてるようホームページで月2回以上発信する。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> 令和7年度の保護者アンケートで、「お子さんはすすんで体を動かしている」の項目で、「そう思う」が100%であった。 ①週1回の打ち合わせを通して、子どもの様子を全教職員で把握し子どもの実態に応じた遊具を準備し遊びを展開していった。1学期から気温が高く戸外で体を動かすにくいことから、遊戯室の涼しい環境の中、全クラス集まって大型の積み木をつなげてサーキット遊びをして楽しんだ。その中で5歳児が率先して遊びを進めていき異年齢との関わりが広がっていった。今年度はこどもの日の集いのお土産に3歳児はパカポコを5歳児はスキップボールをプレゼントし、幼稚園で遊べるようにした。3歳児は先生と一緒にクラスで取り組むことで興味を持ち始め、継続的に自分で手に取って遊んでいた。5歳児がスキップボールで遊ぶ様子を見ていた3、4歳児も刺激を受け、手作りのスキップボールをつくって遊んだ。自分でつくったことで愛着をもち、進んで取り組んでいた。運動会では3歳児はパカポコ、5歳児はスキップボールの披露をプログラムに取り入れたことで、運動会が日々の保育の積み重ねであることを保護者に感じてもらうことができた。 ②体操やふれあい遊びの年間計画に基づき見通しをもってクラスや集会で実施し、また、今年は幼稚園の60周年にちなんで、お祝いの曲で遊びやダンスを取り入れ、3クラスで関わって遊んだ。運動会では、1学期から計画的に体操やダンスに取り組んだことでどの子どもも自信をもち主体的に参加した。運動会後も未就園児園庭開放や他園との交流時などにその遊びを披露する機会をもつことで一緒に遊ぶ楽しさにつながっていった。

③ 11月末現在、地域散歩3回・園外保育を2回実施した。地域散歩では公園の大型遊具を経験でき、また、グラウンドではかけっこや鬼ごっこなど体を目一杯動かして遊ぶ楽しさを味わうことができた。

また、今年度も長原小学校のプールで5歳児が5年生と交流をした。大きなプールでの経験が自信となり、より水遊びに意欲的に取り組む姿となった。

#### **取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】**

令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」が96%「やや思う」が4%であった。

① 毎月、子どもの実態や課題を担任と共有しながら、子どもの発達段階に合わせて保健指導を行った。指導内容や進め方を担任と考えて指導案を作成し、指導後には反省を記録することで、次の指導につなげた。生活習慣を整える指導（4月手洗い、5月歯みがき・歯と口の健康）、季節・時期に合わせた指導（7月熱中症対策、9月けがの予防）、食育（7月噛むことについて）生命の安全教育（6月プライベートパーツについて、プール前指導、10月ふわふわ言葉とちくちく言葉）など視覚教材やイラスト、模型を作成し、子どもが興味や関心をもって取り組めるよう工夫した。また、クイズやロールプレイングなど子どもが体感できる指導を取り入れたり、保健指導後も触って遊べるように視覚教材を保健室前のホワイトボードに掲示し、指導内容を継続して振り返りができるようにしたりしたことで、楽しんで学ぶことができた。

② 毎月のほけんだよりに加え、保健室前のホワイトボードに保健指導で利用した視覚教材を掲示し、保護者が保健指導の内容に関心をもてるよう工夫した。また、ホームページに保健指導の様子を掲載することで、幼稚園での取組を園外部へ伝えている。6月の昼食参観後の保護者講話では、毎月行った保健指導の内容を伝えた。特に生命の安全教育について、子どもたちだけでなく保護者の協力や理解も必要だと感じたため、取り組みや絵本の紹介などを通し重点的に伝えた。

#### **後期への改善点**

#### **取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】**

・今後も継続して体を動かす遊びを楽しめるように職員間で話し合い、環境を整える。

#### **取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】**

・今後も子どもの課題や発達段階を考えながら、子どもが楽しめる保健指導を行う。（実際に子どもがつくったり考えたりできる取組、視覚教材の工夫など）

・ホームページに掲載することを継続し、幼稚園での様子や取組を更に知ってもらえるようにする。



大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標通りに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> ○ 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ○ 子どもの実態把握に努め、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、「遊びの中の学び」に着目した環境を工夫する。	A
<b>指標</b> ① 「遊びの中の学び」が見られるような環境について、週1回以上教員間で検討する。 ② 子どもが園内の自然に興味や関心がもてるよう、栽培物の年間計画を活用しながら、野菜や果物、果実などにふれる機会を月2回以上もつ。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」が100%であった。 ①毎週木曜日、保育計画の打ち合わせを行う際に『就学前カリキュラム改訂版』『世界を拓くなにわっこ』を活用し、子どもが遊びの中から学んでいるとはどんな場面であるかを話し合い次の保育の展開につなげている。また、学びが見られた場面の実践記録やドキュメンテーションを作成し検討会を行っていることが教師の指導力向上にもつながっている。 ②誕生会に季節の花や果物を飾ったり、玄関には子どものつくったものの中に季節の花や実を交えて飾ったりしていることで子どもと保護者の方が一緒に四季を感じ、共感しあう場となっている。カラスのエンドウで笛をつくって鳴らしたり、サツマイモのツルで綱引きや縄跳びをし

たりと、園庭の自然を存分に遊びに活かしたりしている。また、カタツムリ、ザリガニ、バッタ、コオロギなどを飼育し大切にしようとする気持ちをもつとともに製作や歌唱、表現遊び等さまざまな遊びに発展させている。

#### 後期への改善点

○引き続き遊びの中の学びとその要因を探りながら、環境や援助の在り方について職員間で話し合い、その保育に生かしていく。